

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平成26年3月期第1四半期決算短信、プレスリリースなど、当社の近況をご報告させていただきます。
株主の皆様には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年3月期第1四半期 業績ご報告

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府によるデフレ脱却と経済再生に向けた金融緩和や成長戦略の期待感から円安・株高が進行し、輸出企業を中心に緩やかな回復傾向が見られました。但し、雇用・所得水準の先行き不安、円安による輸入品価格の上昇及び海外経済の減速懸念から、実体経済は力強さに欠ける状況となっております。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、新政権による規制緩和への期待感は大いなもの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや相次ぐ異業種を含む大手企業の新規参入など当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、創業120周年を迎え「伝統に縛られず、伝統を活かす」を理念に「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして期初から積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は2,520百万円と前年同四半期と比べ200百万円(8.6%)の増収となりました。

利益面においては原価率の低減が寄与し、売上総利益は1,326百万円と前年同四半期と比べ62百万円(5.0%)の増益となりました。またプロモーション費用の効率化に徹したこともあり、営業利益は116百万円と前年同四半期と比べ215百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は136百万円と前年同四半期と比べ218百万円の増益となり、四半期純利益は114百万円と前年同四半期と比べ182百万円の増

益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、OTC医薬品・医療器具が好調に推移しましたが、主力商品「ビフィーナ」を中心とした健康食品群は苦戦を強いられました。その結果、ヘルスケア事業の売上高は1,696百万円と前年同四半期と比べ38百万円(2.3%)の増収となりました。

損益面では、プロモーション費用の効率化に徹したこともあり、セグメント利益は60百万円と前年同四半期と比べ165百万円の増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き順調に推移し、フレーバー等新規受託先の増加もあり、その結果、カプセル受託事業の売上高は808百万円と前年同四半期と比べ162百万円(25.1%)の増収となりました。

損益面では、産業用等の新規分野での研究開発負担等経費の増加がありましたが、セグメント利益は57百万円と前年同四半期と比べ44百万円(371.7%)の増益となりました。

● 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

連結経営成績(累計)

(百万円未満切捨て)(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,520	8.6	116	—	136	—	114	—
25年3月期第1四半期	2,320	11.6	△99	—	△82	—	△68	—

(平成25年8月9日公表)

新製品のご案内

店舗販売ルート

 <p>ネクストクリーム (第2類医薬品)</p> <p>気になるひじ、ひざなどの荒れ、カサつきに</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 抗炎症作用と保湿作用、血行促進作用の3つの働きで優れた効果を発揮する乾燥性皮膚炎治療薬。 ● ベタつかないクリームタイプ。 ● 非ステロイド。  <p>内容量：15g 希望小売価格：1,280円(税込)</p> <p>平成25年10月1日発売</p>	 <p>サイレンQ (第2類医薬品)</p> <p>ズキズキ痛む切り傷、すり傷に</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 局所麻酔成分配合で、痛みによく効く。 ● 切り傷、すり傷、さし傷など、日常的に起きやすいキズの殺菌・消毒に。 ● 携帯にも便利。  <p>内容量：10mL 希望小売価格：525円(税込)</p> <p>平成25年10月1日発売</p>	 <p>コーフルS (第3類医薬品)</p> <p>自宅でもケアできる浅い「床ずれ、湿疹」用塗り薬</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在宅介護で、床ずれのケアが手軽にできる治療薬。 ● 患部の保護をしながら殺菌し、炎症を抑えます。 ● 介助中も、片手で扱いやすいヒンジキャップを採用。  <p>内容量：19g 希望小売価格：1,155円(税込)</p> <p>平成25年10月1日発売</p>
---	---	--

店舗販売ルート



P.A (パーフェクト アンサー®)

潤い保湿とハリ・ツヤのトータルケア
シャンプー、トリートメント 詰替え用



モイスト&グロス
シャンプー詰替え



モイスト&グロス
トリートメント詰替え

グロッシーピクシー®

きしまず、パサつかない!美容液タイプの
シャンプー、トリートメント 詰替え用



シャイン&グロス
シャンプー詰替え



シャイン&グロス
トリートメント詰替え

プリドール

美容保湿成分がお肌にしっとり潤いを与え、
乾燥による肌トラブルから守るボディ用美容液



シルキースキン
ボディエマルジョン
(フルーティアクアの香り)



シルキースキン
ボディエマルジョン
(オリエンタルフローラルの香り)

内容量：400 mL 希望小売価格：1,260円(税込)

平成25年9月17日発売

内容量：360 mL 希望小売価格：735円(税込)

平成25年9月17日発売

内容量：300 mL 希望小売価格：945円(税込)

平成25年9月17日発売

「ザクロエキス」から抗糖化作用と長寿遺伝子活性化作用の成分を新たに同定・発見

当社は、岡山県立大学（伊東秀之教授）、九州大学（片倉喜範准教授）との共同研究の中で、「ザクロエキス^{*1}」の中から「抗糖化作用」「長寿遺伝子活性化作用」を示す成分を同定・発見し、その成果を「第13回日本抗加齢医学会総会」で発表しました。

今回、岡山県立大学との共同研究により、抗糖化作用を示す成分としてプニカリン、プニカラジンを同定、さらに新たな成分としてポメグラニンA、ポメグラニンBを発見しました。また、九州大学とザクロエキスの長寿遺伝子活性化作用^{*2}の共同研究をさらに進めた結果、ザクロ特有のポリフェノール成分から、レスベラトロールと同等以上の活性を示すプニカリン、プニカラジンを同定しました。

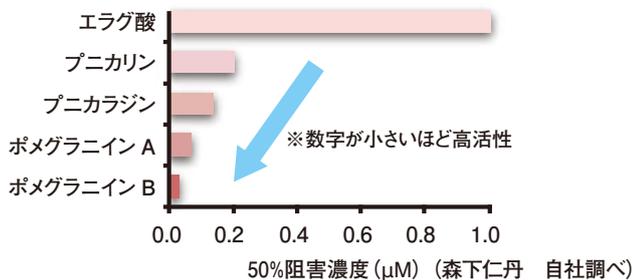
※1 ザクロエキス … 果汁そのままでもジュースでも高いとされる糖分を抜き、ザクロ特有のポリフェノールを濃縮したエキス。ザクロは食用として用いられているため、副作用のリスクも低いとされています。

※2 「サーチュイン遺伝子活性増強剤ならびにそれを用いた医薬品、化粧品、および食品」(特許出願中)

① ザクロ (*Punica granatum L.*) および含有成分の抗糖化作用

ザクロ果汁から糖分を除去し、ポリフェノール成分を濃縮したザクロエキスは、タンパク質と糖による糖化反応の結果作られる最終糖化産物 (AGEs) の生成を強力に抑制しました。

また、ザクロ果肉に含まれる活性成分を探索したところ、ザクロ特有のポリフェノール成分 (プニカリン、プニカラジン) に加え、エラジタンニンというポリフェノールがいくつも連なった成分 (ポメグラニン A、ポメグラニン B) の抗糖化活性も強いことが分かりました。ポメグラニン A、B は、今回世界で初めて発見された成分です。



■ 糖化

人の体の中で、コラーゲンなどのたんぱく質が糖と結びつくと、最終糖化産物と呼ばれるものが形成され、タンパク質の本来の働きが失われます。近年の研究で、肌老化 (特に、シワ、ハリ低下、黄ばみ) などは、この「糖化」が原因の一つと言われており、アンチエイジング研究で注目されている分野です。

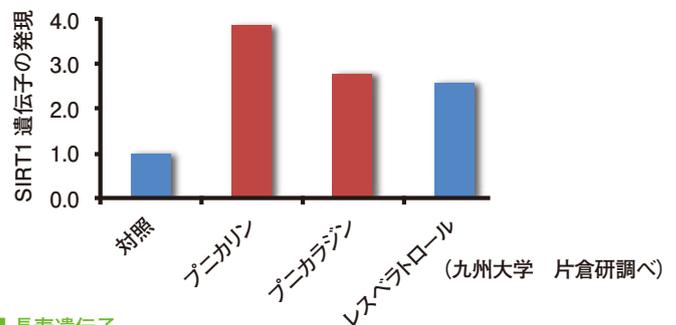
当社は、長年の生薬研究のノウハウを活用し、皆様の健康に役立つユニークな素材の研究開発に取り組んでおります。

確かなエビデンスのもと、安心で安全な商品をご利用頂けるよう更なる安全性・信頼性の向上を図り、皆様の健康増進に寄与して参ります。

② 長寿遺伝子活性化効果を有するザクロ由来ポリフェノールの同定とその機能性

今回の研究では、ザクロエキスやその含有成分をヒトの腸管を模した細胞に作用させたとき、細胞中の長寿遺伝子 (SIRT1) がどのように変化するかを確認しました。その結果、ザクロエキスに含まれるプニカリン、プニカラジンというポリフェノール成分が、SIRT1 遺伝子の増強効果を示すことが明らかになりました。

また、これらの成分を作用させた細胞中の SIRT1 遺伝子の量が増えていることも確認され、その活性の強さはレスベラトロールと同等以上であることがわかりました。



■ 長寿遺伝子

サーチュイン遺伝子や抗老化遺伝子とも呼ばれ、摂取カロリーを制限することで活性化されることが知られています。最近の研究で、この遺伝子が活性化されると様々な疾患の改善に繋がることがわかってきています。アンチエイジング研究の中でも、精力的に研究が行われている分野の一つです。